



空を想い、
技術を極め、
環境社会を創る。



IR HANDBOOK

第**53**期 第2四半期のご報告

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日 | 銘柄コード：9377

AGPグループは、技術力を極め、環境社会に貢献します。

2018年3月期第2四半期の経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要の持ち直しや、雇用情勢に改善の動きがみられ、緩やかな回復基調が継続しました。

また、海外経済の不確実性や金融市場に不透明感があるものの、米国をはじめ、欧州、アジア地区も総じて景気の持ち直しがみられております。

航空業界では、訪日旅客は過去最高のペースで推移しており、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しております。

このような状況下における当社業績は、動力事業、整備事業が堅調であったこと等により、売上高合計は60億32百

万円と前年同期比3億2百万円（5.3%）の増収となりました。

一方、営業費用につきましては、事業規模拡大による労務費等の増加があるものの、55億3百万円と前年同期比2億47百万円（4.7%）の増加に留まりました。

以上により、営業利益は5億29百万円と前年同期比55百万円（11.7%）の増益、経常利益は前期に計上した受取補償金が今期は発生しなかったため、5億19百万円と前年同期比20百万円（4.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円と前年同期比7百万円（2.2%）の増益となりました。

今後の見通し

増収増益・営業利益率改善の傾向が継続しており、中期経営計画で掲げたグループ経営数値目標は概ね順調に推移しております。

また、現中期経営計画（FY15-19）の中間地点にあたる2017年度に、環境変化等を踏まえ、中期経営計画を完遂するための計画の見直しを年度内に実施する予定です。

中間配当

株主への安定的な利益還元を最も重要な課題の一つと認識しつつ、将来の事業展開に備えるための内部留保、業績や財務状況、配当性向等を総合的に判断したうえで、中間配当及び期末配当の年2回を基本とし、利益還元の充実に努めることを基本方針としております。本方針のもと、当期におきましては、2017年7月28日に公表した配当予想のとおり、1株あたり5円の間接配当とすることとしました。



代表取締役社長

山口 栄一

AGPグループでは人材育成の充実・人材確保に向けた取り組みを実施します!

8月

タイ国際航空との訓練センター設立に向けた覚書の締結

当社は、タイ国際航空との間で、ウタパオ空港再開発に伴い2021年に開校予定の整備、オペレーション、空港設備等に関する訓練センターの設立に関し、お互いに協力することを目的として覚書をバンコクにて締結いたしました。

設立50周年を機に策定した「長期ビジョン2025」において、高い技術力と環境社会への貢献によって、空港の安全を守るために培われた技術を日本国内だけでなく、海外へとお届けすることを目指しています。タイ国際航空と協力し、タイにおける技術者に関する教育事業を支援することで、エージーピーが培った知識や技術をタイでの人材育成に活用し、タイの経済政策に貢献するとともに、エージーピーの海外事業拠点を開拓することを目指しています。

今後、タイ国際航空とともに、訓練センター構想の実現に向けて協議を行い、協力体制を強化するとともに、将来的には、タイを拠点としたASEAN各国への人材育成・教育事業の展開を検討しています。



8月

「株式会社Aリリース」を設立

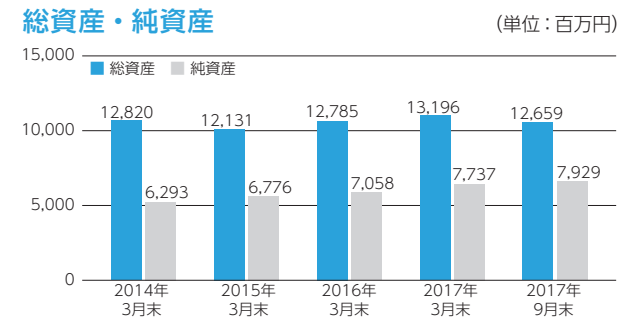
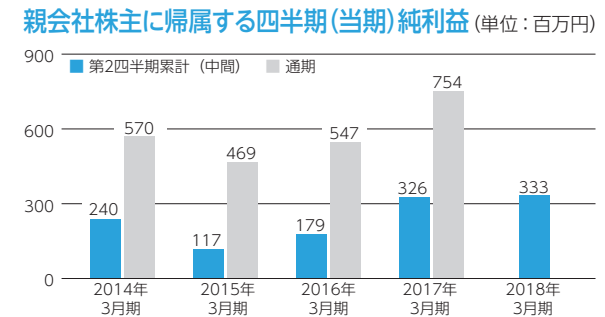
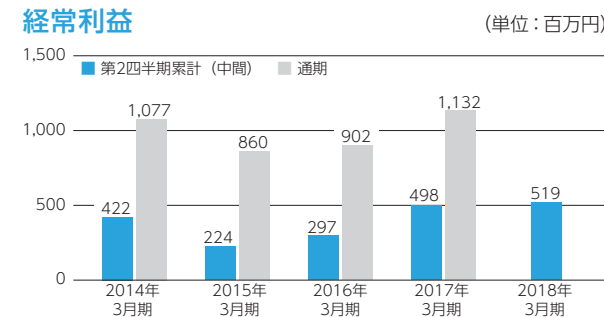
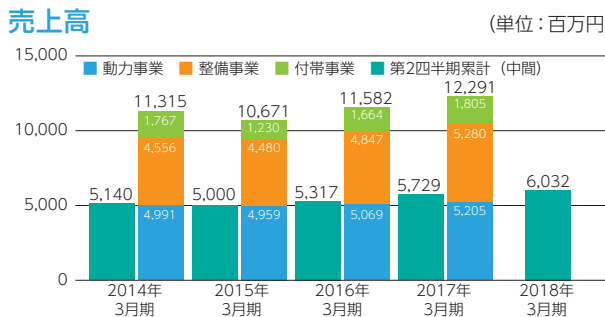
当社は、株式会社ジャパン・リリースと、空港及び空港関連企業を対象とする人材派遣を目的とした「株式会社Aリリース」を合併会社として設立し、本年10月1日から事業開始することといたしました。

株式会社Aリリースは、空港ビジネスにおける整備（特殊設備）や施設（建物・諸設備）などの専門性の高い分野における技術者人材サービスを柱として、空港内外の送迎ビジネス（ドライバー事業）まで、質の高い人材育成・派遣をしていきます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、世界中からの訪日旅行者が増加し、空港運営の民間委託化や空港の拡張計画が進む中、今後ますます不足する空港技術人材、ドライバー人材の教育・育成・派遣を行うことにより、労働力不足の解消と空港における多様な働き方の提案を行っていきます。

株式会社ジャパン・リリースは、役員送迎から患者送迎など、ドライバー分野における人材派遣のリーディングカンパニーです。

人材採用並びに様々な研修による人材育成、当社は空港内における技術者の育成のノウハウを最大限に活かしこれからの成長が見込まれる空港ビジネスに参入することを通して新たなビジネスフィールドを拓いていくこととしています。



※整備事業 整備事業と施設事業を含んでおります。
 付帯事業 セキュリティ事業とフードシステムソリューション事業、新規事業、その他事業を含んでおります。

会社概要

商号	株式会社エージーピー AGP CORPORATION
本社	〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707 E-mail: info@agpgroup.co.jp
最寄駅	東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分
設立	1965年12月16日/ 日本空港動力株式会社設立 2000年9月1日/ 株式会社エージーピーに商号変更
資本金	20億3,875万円
社員数	687名(連結) / 315名(個別)
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員

代表取締役社長	山口 栄一
常務取締役	穴戸 昌憲
常務取締役	丸山 均
常務取締役	村尾 学
取締役	畑山 博康
取締役	門谷 良巳
社外取締役	佐々木 かをり*
常勤監査役	大島 康典
社外監査役	長谷川 正人
社外監査役	奈尾 真一*
社外監査役	米谷 宏行

※ 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

エージーピーグループ

株式会社エージーピー沖縄 株式会社エージーピー開発
株式会社エージーピー関西 株式会社エージーピー北海道
株式会社エージーピー九州 株式会社エージーピー中部
ドクターベジタブルジャパン株式会社
株式会社Aリリーフ(持分法適用会社)

ネットワーク

本社	東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707
成田支社	千葉県成田市三里塚御料牧場1-1 (日本航空成田第一ハンガー内) TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779
羽田支社	東京都大田区羽田空港三丁目1番2号 TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191
関西支社	大阪府泉南市泉州空港南1番地 (日本航空輸出貨物ターミナル) TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107
千歳空港支店	北海道千歳市美々(新千歳空港内) TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213
中部空港支店	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (中部国際空港内) TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165
大阪空港支店	大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地 (大阪国際空港内) TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490
神戸空港出張所	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番 TEL.080-5075-5932
福岡空港支店	福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地 (福岡空港内) TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974
広島空港出張所	広島県三原市本郷町善入寺64番31(広島空港内) TEL.0848-60-8311
沖縄空港支店	沖縄県那覇市鏡水150番地(那覇空港内) TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229



株式の状況

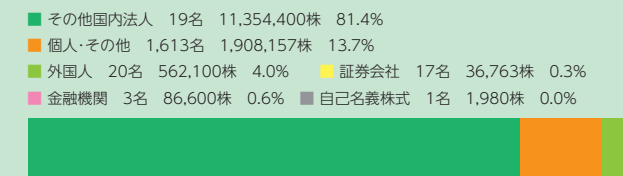
発行可能株式総数	52,000,000株
発行済株式総数	13,950,000株
株主数	1,673名
単元株式数	100株

大株主

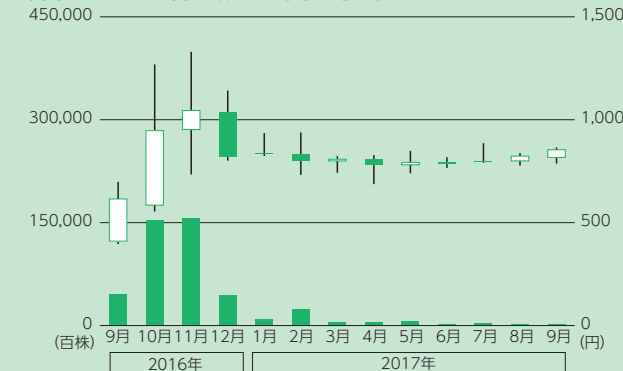
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,651,000	33.34
三菱商事株式会社	3,740,000	26.81
ANAホールディングス株式会社	2,793,000	20.02
エージーピー社員持株会	321,300	2.30
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	227,800	1.63
STIFEL, NICHOLAUS + COMPANY, INCORPORATED SEG EBOC	139,500	1.00
SICAV ESSOR JAPON OPPORT UNITES	138,700	0.99

※ 持株比率については、自己株式(1,980株)を控除して算出しております。

株式の分布状況



株価および株式売買高の推移(月足)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

そのほか臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告方法 電子公告

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意

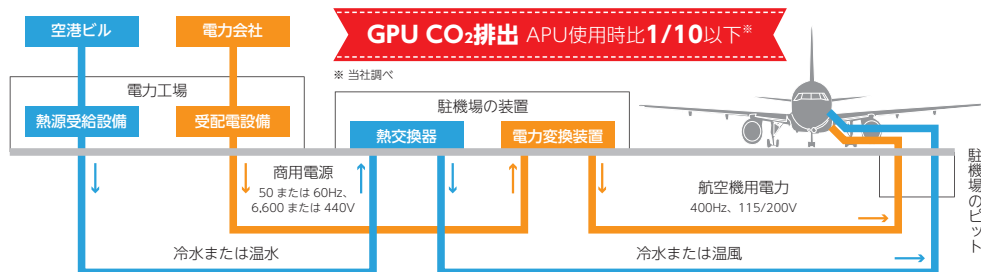
- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

動力事業紹介

AGPの歴史は、航空機への動力供給事業から始まりました。地上動力設備として、電力・冷暖房・圧搾空気の供給は、CO₂削減に貢献する2つの方式で行っています。

1 GPU*固定式 (主要方式)

空港内に受配電設備と熱源受給設備を持った動力工場を設置し、調達した電力を駐機場の装置に供給します。駐機場の装置は、電力を航空機用に変換するとともに、冷水/温水を利用して冷暖房を作り出し、それぞれを航空機へ供給します。



2 GPU移動式

GPU固定式のない駐機場において、電力・冷暖房・圧搾空気を供給する車両です。GPU固定式がない駐機場や地方空港などで活用されています。

* GPU: Ground Power Unitの略。

プレミアムレタス・トマト



ロングライフ化・低カリウム化を実現したプレミアムレタス

ドクターベジタブルジャパンのレタスを生産している植物工場では、徹底した衛生管理・品質管理により低カリウムレタスを生産しています。その品質管理技術により生産されるレタスは、鮮度・味・食感が長持ちする**ロングライフレタス**となっており、コンビニエンスストアなどのサンドイッチ素材としても活用されています。



Dr. Vegetable

プレミアムレタスの情報・問い合わせはこちら ▶ <http://www.drvegetable.jp/>

株式会社 エージーピー

〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/>
E-mail: info@agpgroup.co.jp



見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

